

J A 広島総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	腹壁ヘルニアに対するMini- or Less-open Sublay Operation (MILOS法) の導入成績
倫理委員会承認番号	No.21- 31
研究の対象	ヘルニア門5cm未満の腹壁ヘルニア症例に対して、2021年3月から8月までの間に行われたMini- or Less-open Sublay Operation (MILOS法) 6例と、2012年9月から2020年12月までに行われた腹腔鏡下腹腔内メッシュ留置法 (IPOM-Plus法) 39例が対象です。いずれも、腹腔鏡を利用したメッシュ修復法です。
研究目的・方法	腹壁ヘルニアに対する腹腔鏡下腹腔内メッシュ留置法 (IPOM-Plus法) は、従来の開腹手術と比べ、術後創感染、メッシュ感染が少ないという利点のため、広く行われてきました。一方で、術後疼痛が強いこと、多額な医療費を要することが欠点として挙げられ、さらに、メッシュが腹腔内に露出にすることによる術後の癒着や、重篤な合併症の懸念がなされています。これらの欠点を解決する目的で、2021年3月、低侵襲に腹直筋後腔にメッシュを留置する術式であるMini- or Less-open Sublay Operation (MILOS法) を導入しましたので、短期成績を報告します。さらに、過去に当科で行った、腹腔鏡下IPOM-Plus法との成績比較を行います
研究に用いる試料・情報の種類	カルテでの手術記録、術後記録
外部への試料・情報の提供	なし
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ()
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 外科 研究責任者：田崎 達也 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	2022年日本外科学会総会および論文での発表を予定しています